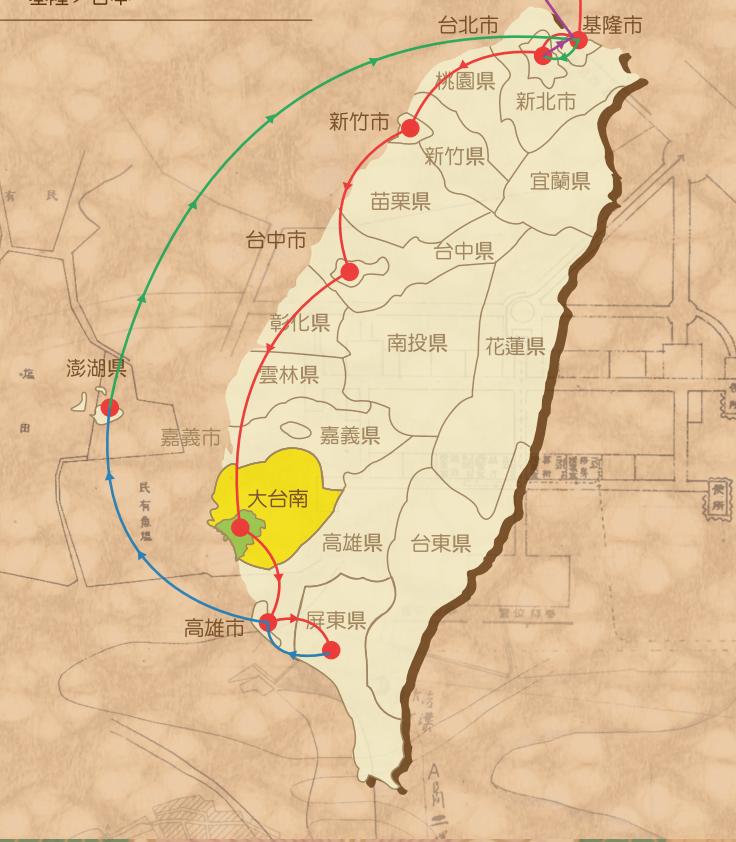


# 裕仁皇太子 台湾周遊ルート

大正12年4月16日～4月27日

日本→基隆→台北→新竹→台中→台南→高雄→屏東→高雄→澎湖→基隆→台北→基隆→日本

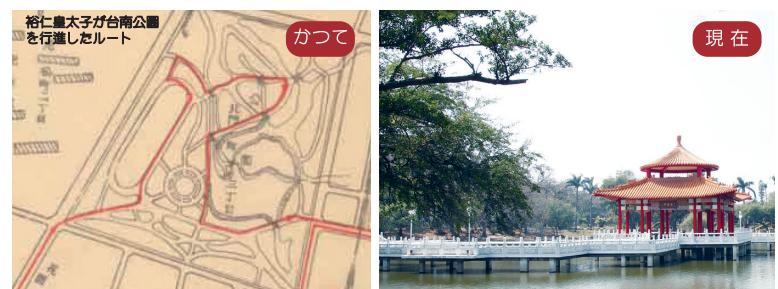


## 03 台南公園

(★市指定古跡)

背景のご紹介 :

台湾の各大都市の中で、面積最大の公園です。1917年の市政開始記念日に開園しました。裕仁皇太子は台南公園を散策され、台南地区の憩いの場をご観なさいました。



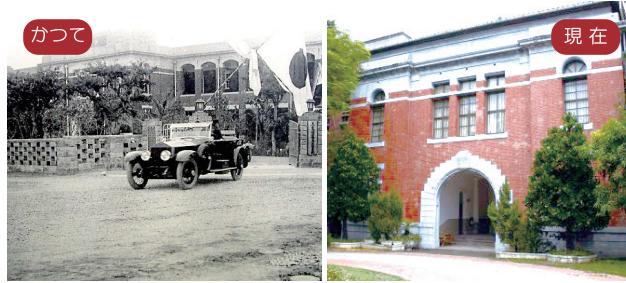
## 04 元・台南第一中学校

| 現在の台南二中红楼玄関と校史室

(★市指定古跡)

背景のご紹介 :

1914(大正3)年に創立され、前身は台湾総督府台南中学校で、台湾総督府が中南部で最初に設置した中学校でした。その後、教育改正により、「台南州立台南第一中学校」と改名されました。講堂は直轄市指定古跡となっており、红楼玄関と2階の校史室に裕仁皇太子はお立ち寄りになり、校史室には「立太子礼記念文庫」が設置されています。



## 05 元・台南州知事官邸

| 1900年創設時は台南県知事官邸

(★市指定古跡)

背景のご紹介 :

1900年(明治33年)に建設され、主に総督が台南を巡視する際の「總督官邸」、皇帝巡視の「御泊所」となっていました。本建築には和洋二館があり、洋館は現在の古跡の本体でレンガ建築となっており、2階北東の増築した部分は裕仁皇太子の居住空間となりました。



## 06 元・台南州庁

| 現在の国立台湾文学館

(★国指定古跡)

1923年04月20日～21日  
日本裕仁皇太子の台南行啓ルート

日本裕仁皇太子  
合南行啓ルート

大正12年4月20日～4月21日

### 01 元・台南驛 | 現在の台南駅

886-6-2261314 台南市東区北門路2段4号

背景のご紹介 :

1900年(明治33年)建設。1911年(明治44年)の市區改正により、台南驛前にロータリーが設置され、交通の中枢となりました。



4月20日のスケジュール

- 08:30 台中御泊所 → 08:38 台中驛
- 12:33 ①台南驛(初代台南駅(現存せず)) →
- 12:40 ⑤台南御泊所(1900年創建当時は台南県知事官邸、1923年当時は台南州知事官邸) ★市指定古跡 →
- 13:20 ⑥台南州庁(現在の国立台湾文学館) ★国指定古跡 →
- 13:47 ⑨北白川宮御遺跡所(現孔子廟脇の公十一公園敷地跡(現存せず)) →
- 14:08 ⑧南門尋常小学校(現在の建興中学校中正棟、歴史的建造物) →
- 14:30 ⑦台南孔子廟(★国指定古跡) →
- 14:50 ⑩台南師範学校(現在の台南大學紅樓) ★市指定古跡 →
- 11:台南第一公学校(現在の台南大学附属小学校の地、改築) →
- ③台南公園内を散策(西南の位置の花園町門から入られ、元・招魂碑、御渡橋、事務所、「立太子記念樹」の小さな丘、飛瀑、中之島、燕潭噴水池東側と巡られ、東側の旭門から出になる) →
- ④台南第一中学校(現在の台南二中の红楼玄関及び校史室) ★市指定古跡 →
- 台南ご宿泊(台南州知事官邸)

4月21日のスケジュール

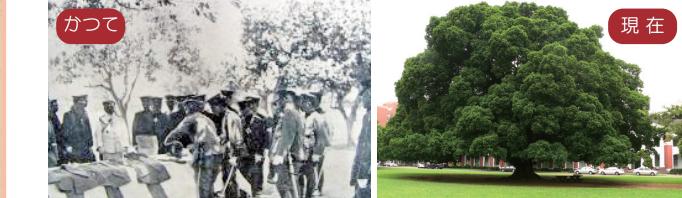
- 08:40 台南御泊所 →
- 09:05 ⑫安平製塩会社埋立地桟橋から乗船(現在の市指定古跡・元・専賣局台南支局安平分室(夕遊出張所) ★市指定古跡)の西北の塩水渓傍(現存せず) →
- 09:35 ⑬安平製塩会社塩田(現在の南寮塩田生態文化村) ★市指定古跡 →
- 10:35 安平埋立地 →
- 10:50 台湾総督府殖產局附属塩水養殖試驗所(現在の五期再計画区(現存せず)) →
- 11:35 ②歩兵第二連隊(現在の成功大学光復キャンパス) ★国指定古跡、ガジュマルを植樹(今は大きなガジュマル園となっています) →
- 12:18 台南驛 → 高雄へ

### 02 元・日本軍歩兵第二連隊(★市指定古跡) (現在の成功大学光復キャンパス、国指定古跡)

886-6-3901175 台南市東区大学路1号

背景のご紹介 :

国立成功大学のキャンパスにある「榕園」の中央に「キノコ形」のガジュマルの樹があります。これは、1923年、裕仁皇太子のお手植えによって植樹されたものです。正面の榕園3棵の建物は、日本軍歩兵第二連隊軍營であり、日本陸軍が最も早く鉄筋コンクリートを採用した実験的な建築物の一つです。裕仁皇太子は台湾南部地区の軍備状況を把握するために軍營を視察されました。



## 03 台南公園

(★市指定古跡)

背景のご紹介 :

1914年(大正3年)、大正公園開園時に新庁舎が建設されました。マンサード様式の屋根を主な特徴としていましたが、第二次世界大戦時に爆撃にあひ、ひどく損壊し、戦後何度も修復されて現在の外觀となりました。裕仁皇太子が台南州を訪れた際、まず州庁で州内の概況を把握された後、地方官員と接見してから台南の教育及び産業機構を訪問されました。



## 04 元・台南州知事官邸

| 現在の台南二中红楼玄関と校史室

(★市指定古跡)

背景のご紹介 :

1895年、日本軍の台湾征討近衛師団長であった北白川宮能久親王が当地で戦死、薨去された部屋は「御遺跡所」とされ、その後、「台南神社」が贈棄されました。裕仁皇太子は行啓時、その場で儀禮に則って追悼の意を表しましたが、参拝はされませんでした。



## 05 元・台南州知事官邸

| 1900年創設時は台南県知事官邸

(★市指定古跡)

背景のご紹介 :

1912年(大正元年)、大正公園開園時に新庁舎が建設されました。マンサード様式の屋根を主な特徴としていましたが、第二次世界大戦時に爆撃にあひ、ひどく損壊し、戦後何度も修復されて現在の外觀となりました。裕仁皇太子が台南州を訪れた際、まず州庁で州内の概況を把握された後、地方官員と接見してから台南の教育及び産業機構を訪問されました。



## 06 元・台南州庁

| 現在の国立台湾文学館



## 07 台南孔子廟

(★国指定古跡)

背景のご紹介 :

1665年(永曆19年)、鄭經が、陳永華将軍の建議を受け、「先師聖廟」を建設。1917年(大正6年)、日本人の手によって地震で損壊していた廟が修復され、既存の建物全てが解体・再建されました。裕仁皇太子は孔子祭式典を視察され、台湾伝統儒教の発祥の地を見学されました。



## 08 元・南門尋常小学校本校

| 現在の建興中学校中正ビル



## 09 元・北白川宮御遺跡所

| 元は孔子廟脇の公十一公園に位置したが、現存せず

背景のご紹介 :

1895年、日本軍の台湾征討近衛師団長であった北白川宮能久親王が当地で戦死、薨去された部屋は「御遺跡所」とされ、その後、「台南神社」が贈棄されました。裕仁皇太子は行啓時、その場で儀禮に則って追悼の意を表しましたが、参拝はされませんでした。



## 10 元・台南師範学校本館

| 現在の台南大学紅樓 (★市指定古跡)

背景のご紹介 :

1899年(明治32年)創立。その後、総督府國語学校台南分校が設置され、最終的に総督府台南師範学校となりました。1922年(大正11年)3月10日、現住所において開校されました。



## 11 元・台南第一公学校

| 現在の台南大学附属小学校の地、改築

背景のご紹介 :

1896年(明治29年)創立。その後、台南公学校、台南師範学校代用附属公学校と改名され、最終的に「代用」の文字を取って、附属公学校となりました。



## 12 元・安平製塩会社埋立地

(★市指定古跡)

背景のご紹介 :

1900年(明治33年)に建設され、主に総督が台南を巡視する際の「總督官邸」、皇帝巡視の「御泊所」となっていました。本建築には和洋二館があり、洋館は現在の古跡の本体でレンガ建築となっており、2階北東の増築した部分は裕仁皇太子の居住空間となりました。



## 13 元・安平製塩会社塩田

(★市指定古跡)

背景のご紹介 :

「台灣製塩株式会社」によって安平製塩工場が竣工したのは1923年(大正12年)のことです。裕仁皇太子が訪問時にご乗船になった塩の運河、上下台場頭、御憩頭、塩を晒す大蒸発池、小蒸発池、結晶池などが今も残されています。裕仁皇太子は台湾の塩業の発展状況を把握するために視察されました。



## 安平地区 オススメスポット

### ①運河博物館 元・台南運河安平閘門

市指定古跡。1935年に安平港が開港され、1939年から船が安平から現在の「中国城」まで直航となつたため、税関もここに移されました。



### ②西門小学校郷土館 元・安平小学校校長官舍

886-6-2295948  
台南市安平区觀音街64号  
1913年(大正2年)から1924年の間に建設されました。



### ③安平文化資産館 元・安平市仔街何旺厝

886-6-2206799、2290730  
台南市安平区延平街86号  
市指定古跡。1920年代(大正年間)に建てられた、「樓仔厝」と通称されています。



### ④剝戻窯文化館

886-6-2286836  
台南市安平区國勝路110-1号  
安平地区からすでに窯の文化が存在していましたが、現在では僅かに安平剝戻窯文化館で保存されているだけです。



### ⑤安平王鶴屎洋樓

886-6-2267348  
台南市安平区國勝路35巷2号  
市指定古跡。1937年建設。日本統治時代末期、戰時下のため自立したように、建物は黒塗りにされました。



### ⑥安平古堡陳列室

886-6-2213111  
台南市中西区樹林路2段33号  
1930年(昭和5年)、総督府が「台灣文化300年記念」を祝賀して建設した新しい様式の洋館です。



### ⑦安平樹屋

886-6-3913901  
台南市安平区古堡街108号  
19世紀に建てられた、「德記洋行」(かつてイギリス商人が設立した台湾の貿易事務所)と共に「大日本塩業株式会社」へ提供され、その後の管理下に置かれました。



### ⑧朱玖瑩旧居

886-6-3913901  
台南市安平区古堡街108号  
元・大日本塩業株式会社宿舎